

数学科からの挑戦状 PART 3

【全校のみなさんへ】

今回はちょっと雰囲気をかえて、今年1年間の授業で出てくる重要事項について質問です。パズルではないので、教科書をよく読めば答えはかならず載っています。これからの学習の予習のつもりで、教科書を開いてみてください。

(2、3年生は前学年の問題にも復習として取り組みましょう)

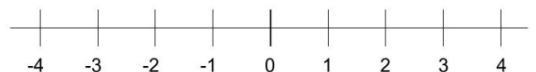
【1年生】

- 同じ数のたし算は「 $\times$ 」を使って表します。 $(5 + 5 + 5 = 5 \times 3)$ この____の読み方は「5かける3」です。中学校では、同じ数のかけ算を次のように表します。 $(5 \times 5 \times 5 = 5^3)$ このとき、____の部分の読み方を調べましょう。

- まっすぐに限りなく続く線のことを「直線」と呼びます。1年生では、^{はんちよくせん}「半直線」や^{せんぶん}「線分」という線が出てきます。この3つの線にはどういう違いがあるのか調べましょう。

- 右の数直線で、0より-2小さい数に印を付けましょう。

また、^{ぜったいち}絶対値が4になるところに印を付けましょう。



【2年生】

- 式 $x^2 + 3x + 1 - 4x + 2x^2$ の同類項はどれですか。また、同類項をまとめて式を簡単にしましょう。
- 2つの図形が「合同」であることを表す記号を調べて、書けるようになりましょう。
- 3つの辺の長さがすべて等しい三角形のことを「正三角形」といいます。それでは、4つの辺の長さがすべて等しい四角形のことを何というか調べましょう。

【3年生】

- 乗法でよく使う公式を4つすべてかきましょう。忘れている人は調べて覚えましょう。
- 1年生で、比例 $y = ax$ の定数 a を「比例定数」と呼ぶことを学習しました。それでは、3年生で学習する関数 $y = ax^2$ の定数 a のことを何というか調べましょう。
- 2年生で図形の合同について学習しました。3年生では、図形の^{そうじ}「相似」について学びます。そこで、2つの図形が「相似」であることを表す記号を調べて、書けるようになりましょう。